

## 令和7年度川崎市立川崎高等学校附属中学校の入学者決定検査 における解答欄のマス数の誤りについて

昨日（2月3日（月））、教育委員会が実施した令和7年度川崎市立川崎高等学校附属中学校の入学者決定検査において、受検者に配布した解答用紙の解答欄のマス数が、問題文で指定している字数（15字以上20字以内）に合わせて20マスとすべきところ、25マスとなっていたことが適性検査終了後に判明しました。受検者数は481名でした。

なお、今後、採点上の取扱いとしては、受検者に不利益とならないよう、問題の意図を理解して15字以上25字以内で的確に説明されていれば、正答として採点します。

### 1 事案の経緯

#### (1) 検査会場

川崎市立川崎高等学校附属中学校（校長 西 道生、全校生徒数 353名）  
所在地 川崎市川崎区中島3-3-1

#### (2) 解答欄のマス数の誤りの内容

適性検査Ⅰの問題2（1）において、問題文の指定では、あてはまる言葉を15字以上20字以内で記入すべきとしていたが、解答用紙の解答欄が25マスとなっていたもの

#### (3) 経過

全ての適性検査終了後、解答用紙を整理していた教員が、解答用紙の解答欄のマス数が問題文指定のマス数より多いことに気付き、教頭に報告したことにより発覚した。

なお、その後、適性検査Ⅰの検査中に、受検者から解答用紙のマス目が多いとの質問を受けた一部の検査監督員が、本部に報告することなく、問題文に従って解答するよう指示していたことも判明した。

#### (4) 入学者決定検査（適性検査）の概要

ア 検査日時 令和7年2月 3日（月） 9：00～ 9：45（45分間） 適性検査Ⅰ  
10：20～11：05（45分間） 適性検査Ⅱ  
イ 合格発表 令和7年2月10日（月） 10：00～  
ウ 受検者数 481名

#### エ 検査のねらい

- ・適性検査Ⅰ 社会科学的な問題、自然科学的な問題及び数理的な問題について、図、表、データ等の情報を的確に捉え、整理、分析し、問題解決に向けて思考、判断し、表現する力を見る。
- ・適性検査Ⅱ 文章の内容を的確に捉え、表現する力を見る。また、作文を通して、自分の考えを表現する力や社会性等の素養を見る。

#### (5) 採点上の取扱い

問題文で指定された字数（15字以上20字以内）ではなく、問題の意図を理解して15字以上25字以内で的確に説明されていれば、正答として採点する。

### 2 今後の対応及び再発防止策

- (1) これまで、教育委員会が、検査問題と解答用紙を別々に作成していましたが、今後は、同時に作成することとし、目安となる字数を解答欄のマス数に補記し、常に実際に用いる解答用紙により検証を行うものとする。
- (2) 受検者から質問等があった場合には、検査監督員の判断だけでなく、その内容を速やかに本部と共有するよう徹底する。

【問合せ先】 川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課 北島  
電話 044-200-3067

## 【問題文の該当箇所】

**問題2** たろうさんとはなさんは、理科室でひろし先生と夏休みの自由研究の中間発表会を行いました。次の会話文を読んで、あとの(1)～(9)の各問いに答えましょう。

ひろし先生：これから自由研究の中間発表会を始めます。はじめに、たろうさんお願いします。

たろうさん：水にスポーツ飲料の粉をとかしたときに、たくさんの粉を入れると粉がとけ残ってしまいました。水へのもののとけ方に疑問をもったので、私は「ものが水にとける量」について調べることにしました。

はなこさん：私もスポーツ飲料の粉がとけ残ったことがあるので、なぜとけ残るか知りたいです。たろうさんはとけ残る理由について、どのように予想したのですか。

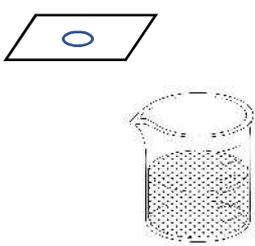
たろうさん：私は「ものが水にとける量」について、と予想しました。それを調べるために、スポーツ飲料の粉にふくまれている砂糖と食塩、またミョウバンをそれぞれ1gずつ20℃の水100mLにとかす【実験A】を行いました。

### 【実験A】

<方法>

- I 砂糖、食塩、ミョウバンを1gずつそれぞれ20℃、100mLの水の入ったビーカーに加える。
- II とけ残りが出たとき、とかすものを加えるのをやめる。
- III とけ残りが出る前のとかしたものの量を記録し、表にまとめる。

とかすものを1gずつ入れる



20℃の水 100mL

➔



とけ残りが出る

例えば、合計で50gのものを加えたときに、とけ残りが出た場合には、49gと記録する。

<結果>

とかしたもの	とけ残りが出る前のとかしたものの量
砂糖	204 g
食塩	36 g
ミョウバン	5 g

<分かったこと>

予想通り、ものを少しずつ水にとかしていくと、ものが水にとけきれなくなり、とけ残りがでることが分かった。また、とかしたものの種類によって、同じ水の量や同じ水の温度では、ものがとける量は決まっていた。これは実験する前は予想がつかなかった。

(1) にあてはまる言葉を、15字以上20字以内で書きましょう。

